

株主様からのご質問と回答

株主総会の招集通知にてご案内しました株主様からのメールでのご質問につきまして、代表的な内容を中心に、以下ご回答申し上げます。

1. 新社長の20年度の実績、経営に対する考え方について
前社長が昨年11月に逝去し、緊急で代表取締役社長に就任した直後は、円滑な事業運営が行われるようガバナンスの安定化に注力しました。経営方針を策定し、急速に進化・変化する不確実性が高い世の中に対し、主にスピーディーに新商品を創出し、社会への貢献と持続的成長を実現することとしています。
※詳細は『株主総会 事前説明動画』をご参考ください
2. 東証市場再編における当社の選択について
どの市場区分を選択するかについては、現在検討を進めています。市場選択の期限である12月までに、諸条件を踏まえて十分に検討のうえ、決定次第、適切な方法でお知らせします。
3. 営業損失の状況で株式報酬が支給される理由について
招集通知(定時株主総会招集ご通知に際しての開示事項P10)に記載の「株式報酬」の金額については、全額が事前交付型の譲渡制限付株式報酬です。事後交付型の業績連動型株式報酬は、業績指標(ROE)の基準を満たしていないため20年度は付与されていません。
4. 補欠監査役を選任しない理由について
選任した補欠監査役に対する報酬の支払いや候補者の検討などに課題があります。特にどの監査役が退任することになるのか見当がつかないため、補欠監査役が就任した際にスキルのバランスが問題になることを懸念しています。
これらの内容から、当社規模の場合は、補欠監査役を選任するよりも、万一の際には臨時株主総会を開催し、新たな監査役を選任したほうが合理的と判断しています。なお、監査報告書作成で緊急を要するなどの場合は、仮監査役の選任を裁判所に申立てるなどの措置を講じることといたします。
5. 経営計画の施策『製造DX』に関する定款について
製造DXは、システム開発等について定款で定めている子会社『株式会社HTKエンジニアリング』が行うこととなります。
6. 松本山雅のスポンサーの継続について

弊社が松本山雅様とのスポンサー契約を結んだ主目的は、工場を構える安曇野地域への貢献にあります。契約については、当社の事業環境や業績、またスポンサーになることの効果などを踏まえて、毎年、内容の見直しをしています。

現在の松本山雅 FC の成績低迷については遺憾ではございますが、今後のスポンサーの継続については、中長期視点で地域への影響や効果を踏まえて判断してまいります。

以上